

令和7年度「自然観察会」～冬の森の観察会～（共催）の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	冬の森の観察会（交流館前庭～エゾユズリハ～志文別線～大沢コース／周回3ヶ所）	
開催日時	2026年（令和8年）2月8日（日）；9：50～12：30	
天 候	晴、曇（風速2m/s） 出発時－13.1℃ 正午－6.2℃（アメダス江別）	
参加者数	一般参加者：39名（班編成：6班）／ボランレン：7名（うち、サポート2名）下見会11名	
観察記録	草本	ヨブスマソウ
	木本	〔果実〕ヤドリギ、ツタウルシ 〔冬芽〕イタヤカエデ、イワガラミ、ウダイカンバ、エゾニワトコ、エゾノバッコヤナギ、オニグルミ、オノエヤナギ、カツラ、キハダ、コナラ、サルナシ、サワシバ、シウリザクラ、シナノキ、シラカンバ、ツタウルシ、ツルアジサイ、ツルマサキ、トドマツ、ニガキ、ノリウツギ、ハウチワカエデ、ハクウンボク、ホオノキ、ミズナラ、ヤチダモ、ヤマグリ
	野鳥	アカゲラ、キバシリ、クマゲラ、コゲラ、ゴジュウカラ、シジュウカラ、ハシブトガラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヤマゲラ ※鳴き声も含まれます。
	足跡 その他	〔足跡〕エゾユキウサギ、キタキツネ、エゾシカ、ネズミ、エゾクロテン？、アライグマ、エゾタヌキ 〔虫こぶ〕ミズナラメウロコタマフシ、ミズナラメコガタニセハナフシ、クリメコブズイフシ 〔その他〕タケカレハの繭、ヤママユの繭？、コガタスズメバチ？の巣
感想など	<p>・当日は積雪、曇りの予報であったが積雪もなく、スタート時は快晴。前日観察した足跡なども消えることなく観察できた。</p> <p>・家族連れと親子班を交流館に1班ご担当いただき、大人班をボラレンで分担。</p> <p>・寒い時期の2.5時間設定はトイレなども考慮すると少し長いか。2H、2.5H班に分ける手も。</p> <p>・低体温等の心配もある寒さであった。長い時間の休憩は逆効果になるので注意。</p> <p>・狭い道幅であったが、前日の退避場所踏み固め効果もあり通行人とのすれ違いも比較的スムーズにおこなっていた。</p> <p>・雪道での観察は1グループ7名くらいが限界か、声が通りづらく、並び順を入れ替えるなどの工夫の他、解説者が真ん中に入るなどの配慮も今後気を付けていく。</p> <p style="text-align: right;">（記録担当：蔵谷徳洋 写真提供 桑井利子）</p>	



交流館前で開会式



解説風景



オノエヤナギ



ヤドリギ



子供達も3km
コース周回



エゾユキウサギの
足跡



タケカレハ繭



ヤマゲラ